

避難小屋について



○本来は登山が予定した時間等目的どおり、達成できないときに安全のために利用するもの。近くでは奥多摩にもある。

○一方では東北地方等、避難小屋での宿泊が前提になっている場所もあります。

代表的：岩手県の岩手山八合目避難小屋

山形県の朝日連峰 大鳥小屋→以東小屋→狐穴小屋→竜門小屋→朝日小屋

九州屋久島 宮之浦岳の新高塚小屋

○規模も10人程度から100人規模のものあり。

無人小屋、緊急時のみ使用もある。また、夏季は管理人が在駐する小屋もある。

トイレ・貸し毛布等ありもある。

管理人がいる小屋は有料 岩手山八合目避難小屋は1700円

○早い者勝ち。収容人数によっては遅く着くと入れない場合あり。屋久島新高塚小屋

○選ぶポイント・・・水場があるかどうか あっても離れている場合あり。事前チェック必要

○避難小屋装備

- ・シェラフ
- ・エアマット（小屋は板の間）
- ・ガス・バーナー（自炊が基本）
- ・食器 ・食料

参考情報 朝日連峰竜門避難小屋

利用料

登管理協力費

一般¥1500／人

トイレ 有

宿泊人数 約50人

食事 無

寝具 無

水場 小屋前…盛夏以降、管理人さんが引いてくれていれば利用可能。